日本英文学会東北支部／東北英文学会・ニュースレター

Newsletter

The Tohoku Branch of the English Literary Society of Japan
The Tohoku English Literary Society

2010年4月号

発行 日本英文学会東北支部／東北英文学会

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋 1-3-1 東北学院大学 英語英文学研究所内

TEL: 022 (264) 6401 FAX: 022 (264) 6530 E-mail: tohoku@elsj.org

URL: <http://www.tsc.tohoku-gakuin.ac.jp/~tohoku-eibun/>

新体制発足！

2009年度評議員会の席で承認されました日本英文学会東北支部規約および東北英文学会会則（改正）が、2010年4月1日をもって正式に発効しました。これをもって本会は日本英文学会東北支部／東北英文学会と名乗り、会員管理や役員選出、そして会計処理などをより適正に行いつつ、本会のさらなる発展を図っていきます。規約および会則の詳細については、本会のホームページをご覧ください。

会員身分および会費納入について

現在本会の会員は、厳密には（１）日本英文学会東北支部会員と（２）東北英文学会会員の２種類より構成されています。（１）は従来の東北英文学会と日本英文学会の両方に所属する会員で、（２）は従来の東北英文学会のみにも所属する会員です。当面はこのねじれを含む形で運営していきませんが、正式には本会の運営は日本英文学会の事業と連結しているため、いずれは（１）の形に収斂していきます。現在（２）の皆様には、できれば（１）の形に切り替えていただくようお願いいたします。すでに新規の入会は2009年度より（１）の形でのみ受け付けるようになっております。なお、入会・切替はいずれも日本英文学会事務局（ejimu@elsj.org）で受け付けております。

このようなわけで、（１）の日本英文学会東北支部会員と（２）の東北英文学会会員とで、会費納入の金額および方法が異なります。お間違いのないように、以下のいずれかの方法でお支払いください。

(1) 日本英文学会東北支部会員

日本英文学会事務局から送付される振込用紙（この Newsletter には同封されていません）にて、本部・支部会費（一般会員 10000 円、学生会員 7000 円）をお支払いください。

なお、日本英文学会では、経費節約のため、より手数料のかからない郵便局自動払込み方式への切替えをお願いしています。ご協力いただける方は、本部事務局（ejimu@elsj.org）までご連絡ください。

(2) 東北英文学会会員

日本英文学会東北支部／東北英文学会事務局から送付される振込用紙（この Newsletter に同封されています）にて、会費 5000 円をお支払いください。

***間違えて(1)と(2)の両方をお支払いにならないようご注意ください。**

『東北英文学研究』原稿募集中

2010 年度より発刊されます『東北英文学研究』第 1 号の原稿を募集中です。投稿をご希望の方は、『東北英文学研究』投稿規程をご覧ください。今回に限り、締切を投稿規程の 3 月 31 日から 5 月 31 日に延長しております。査読を経て「可」とされた論文は、2010 年 12 月発行予定の日本英文学会『英文学研究 支部統合号』に合本される『東北英文学研究』に掲載され、全国の会員に配送される予定です。投稿規程にもありますが、応募資格は本会の全会員（日本英文学会東北支部会員および東北英文学会会員）にあります。

『東北英文学研究』投稿規程

- 一. 投稿資格は日本英文学会東北支部会員及び東北英文学会会員が有する。
- 二. 投稿論文の掲載は、編集委員会が決定する。
- 三. 投稿論文の送付は、事務局に 3 月 31 日までに必着とする。
- 四. 投稿論文は、原則として日本英文学会東北支部のホームページからダウンロードしたテンプレートを
用いて作成し、1 部を電子メールにより送付すること。郵送で提出する場合には、ワープロもしくは
パソコンで印字したものを 5 部送付すること。いずれの場合にも原稿は返却しない。
- 五. 投稿論文の形式は、『英文学研究』投稿規程（和文・英文）に基づく。
- 六. 掲載された論文の著作権は、日本英文学会東北支部に帰属するものとする。
- 七. この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

***この規程では分かりにくくなっていますが、カバーレターと英文シノプシスも忘れずにお付けください。**

日本英文学会東北支部／東北英文学会・第65回大会

この度、2010年度第1回大会準備委員会が開催され、日程等の協議が行われました。すでにお知らせしたことではありますが、以下のように大会を行います。

日時：9月25日（土）・26日（日）

場所：仙台白百合女子大学

スケジュールの詳細に関しては、7月24日に開催予定の第2回大会準備委員会で決定される予定です。つきましては、以下の通り研究発表の募集を行いますので、会員の皆様におかれましてはふるってご応募ください。なお、今大会は日本アメリカ文学会東北支部との共催の形をとる予定です。

研究発表応募要項

大会第1日目には研究発表を行います。研究発表の資格は全会員（日本英文学会東北支部会員および東北英文学会会員）にあります。研究発表をご希望の方は、（1）略歴、（2）2000字程度の発表要旨（採用の可否を決める審査に用いられます）、（3）400字程度の発表要旨概要（採用された場合には大会プログラムに掲載されます）、の三点を7月20日（火）までに原則電子メールで事務局（tohoku@elsj.org）へお送りください。以上を添付書類とする場合には、MS Word形式またはテキストファイルにしてください。それ以外の形では事務局で開けない場合がありますので、ご注意ください。郵送の場合には当日消印有効とします。

シンポジウムについて

大会第2日目に行われるシンポジウムについては、現在次のように企画中です。講師に関しては、各部門の大会準備委員および司会候補者を中心に調整されます。

- イギリス文学部門 「旅と蒐集のイギリス文化史」（仮題）
司会候補者：荒木正純（白百合女子大学）
- アメリカ文学部門 「追悼、サリンジャー——60年代の予兆：出自、階級、文学史——」（仮題）
司会候補者：村上東（秋田大学）
- 英語学・英語教育部門 「英語の所有表現の諸相」をテーマに行う予定
司会候補者：西田光一（東北大学）

大会後の発表原稿の取り扱いについて（注意）

本会はこれまで『大会 Proceedings』を刊行して当該年度の大会の研究発表およびシンポジウムの内容を掲載してきましたが、この『大会 Proceedings』は2009年度を最後に廃刊しました。2010年度からは新たに『東北英文学研究』を発刊しますが、これは査読付き論文集であるため、大会での発表そのものを無条件に掲載するものではなくなります。発表者の方々には、ぜひ論文の形に仕上げ、『東北英文学研究』の方に投稿いただければ幸いです（もちろん査読を受けます）。

2010年度大会準備委員

開催校委員	横尾元意（仙台白百合女子大学）	山田恵（仙台白百合女子大学）
イギリス文学部門	霜鳥慶邦（福島大学）	岩田美喜（東北大学）
アメリカ文学部門	山田恵（仙台白百合女子大学）	宇津まり子（米沢女子短期大学）
英語学・英語教育部門	菅原美佳（東北薬科大学）	西田光一（東北大学）

東北英文学会賞募集中

日本英文学会東北支部／東北英文学会では、東北英文学会における発表に基づく優れた業績に東北英文学会賞を授与してこれを表彰しています。条件に合う業績をお持ちの方は、ぜひご応募ください。なお、東北英文学会賞規定および2010年度応募要項は以下の通りです。

東北英文学会賞規定

第1条（名称） 本賞は東北英文学会賞と称する。

第2条（目的および賞金） 本賞は英文学、米文学（それぞれに比較文学・比較文化を含む）、英語学（言語学、英語教育を含む）の各分野における研究を奨励するとともに優れた業績を顕彰することを目的とする。

各分野の入賞者には賞状及び賞金5万円を授与する。

第3章（基金） 本賞の基金は、東北英文学会元会長村岡勇氏より寄付された基金を原資とする。必要に応じて募金を募って基金に組み入れる。

第4条（対象） 本賞は、東北英文学会大会における研究発表またはシンポジウム発表の内容が、後日論文または著書として刊行されたものを対象とする。

2 応募論文・著書では、東北英文学会大会において発表された内容に基づいていることが、本文

または注の中に明記されていなければならない。

3 対象となる論文・著書は平成7（1995）年10月1日以降に刊行されたものとする。

第5条（応募締切及び応募要項） 応募締切は原則として毎年6月30日とする。応募要項は別に定める。

第6条（審査） 応募論文・著書の審査は、東北英文学会賞審査委員会（以下「審査委員会」という）が行う。審査委員会の委員長は東北英文学会会長とする。

2 審査委員会は、英文学、米文学（それぞれ比較文学・比較文化を含む）、英語学（言語学、英語教育を含む）の3分野につき、それぞれ3名で構成する。

3 審査委員は東北英文学会会長が指名する。

4 審査委員は東北英文学会会員の中から選任するが、必要に応じて会員以外の者に委嘱することもできる。

5 審査委員の任期は2年とする。但し重任を妨げない。

6 授賞論文・著書は各分野につき1年に1編とし、佳作は設けない。

7 授賞論文・著書の決定は、審査委員会全体の合議により行う。

第7条（授賞） 授賞の発表は東北英文学会大会開会式において東北英文学会会長が行い、受賞者に賞状と賞金を授与する。

付 則 本規定は、平成7（1995）年10月1日より施行する。

東北英文学会賞 2010年度応募要項

- (1) 応募者は東北英文学会の会員であることを要しない。
- (2) 応募論文・著書には、第63回（2008年度）または第64回（2009年度）東北英文学会大会において発表された内容に基づいていることが、本文または注の中に明記されていなければならない。
- (3) 応募者は、対象となる論文・著書を三部（コピーでも可）提出すること。
- (4) 略歴を添付すること。
- (5) 応募論文・著書は、あらかじめ申し出がない限り、返却されない。返却を希望する場合には、返送に必要な額の郵便切手を応募の際に同封すること。
- (6) 締切 平成22（2010）年5月31日 消印有効・締切厳守
- (7) 宛先 日本英文学会／東北英文学会事務局
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 東北学院大学 英語英文学研究所内
- (8) 受賞者は日本英文学会東北支部／東北英文学会第65回大会開会式において会長から発表される。応募者には審査結果を別に通知する。

付記 応募は本人以外の推薦によるものも受け付ける。

応募論文・著書は締切日現在で刊行済みのものに限り、ゲラ刷りによる応募は受け付けない。

役員選挙について

日本英文学会東北支部規約にもありますように、日本英文学会東北支部では2010年度から隔年ごとに従来の評議員とは別に支部理事10名を全会員を対象とする直接選挙で選出し、その中から支部長・副支部長・日本英文学会本部役員（理事1名、評議員1名）を選出する作業をしなければなりません。2010年度はその初めての選挙の年になり、秋口に行う予定です。詳細は秋口に選挙用紙を配布する際に改めてお伝えしますが、そのような予定であることを今からご承知おきください。ちなみにこの作業は日本英文学会東北支部会員のみに関わるもので、東北英文学会だけの会員には関わりません。詳細は本会ホームページ上の日本英文学会東北支部規約「九. 支部理事」の項目をご覧ください。

事務局の体制について 学会の事務は東北学院大学文学部英文学科准教授・横内一雄が務め、庶務には同大学非常勤講師・尾坂純子、会計には同大学非常勤講師・相田明子が付いております。日本英文学会東北支部会員の皆さまについては、会費納入・住所変更等の受け付けは日本英文学会（本部）で行っておりますが、東北英文学会のみの方の皆さまについては、会費納入・住所変更等の受け付けは当事務局で行っております。この他のお問い合わせについては、どちらのケースであっても当事務局で承りますので、どうぞお気軽にご連絡ください。ご連絡は電子メール（tohoku@elsj.org）が最も迅速・確実です。利用可能な方はできるだけ電子メールをご使用ください。